

# デュアルランゲージ(DL)DP導入 に向けた課題

東京学芸大学附属国際中等教育学校の取り組み

## 東京学芸大学附属国際中等教育学校(TGUISS) 概要

- ・2007年 4月開校した六年一貫教育学校  
1年から6年までの生徒数(約720名)の  
半数が海外教育体験生徒を目指す
- ・2010年2月インターナショナルバカロレア(IB)による  
ミドルイヤーズプログラム(MYP)を実施(1年から4  
年対象)
- ・2012年DP導入を検討、校内にDPワーキンググルー  
プを設置
- ・2013年3月1期生卒業
- ・**2013年10月DLDP申請(予定)**

# 日本におけるDP導入の壁

- ・日本語で実施できない！
- ・DPを指導する教員の確保ができるか！
- ・1条校として、学習指導要領との整合性に不安がある！
- ・国内大学進学への不安！
- ・施設設備の確保、経費の確保！

その他……

# 日本語と英語によるDLDP

DLDPにすることで・・・

- ・一部日本語での授業ができる
- ・日本語でのIBワークショップが増える
- ・校内での理解が得られやすくなる
- ・人件費の削減が見込まれる

DLDPにしても・・・

- ・指導要領との整合性の課題
- ・指導者の資質確保の課題
- ・国内大学進学 of 課題

# DP導入検討を進める中で見えてきた 課題解決策（国際中等の場合）

## その1) 指導要領との整合性の課題

- ・4年（高1）の学習指導が重要
- ・DPが終了できなくとも、卒業ができるカリキュラム
- ・4年では、できるだけ必修科目を組む
- ・学校設定科目を有効に使う
- ・5年（高2）から、DPからのドロップアウトを認める
- ・DP以外でも海外を目指す生徒の支援

# DP導入検討を進める中で見えてきた 課題解決策（国際中等の場合）

## その2) 指導者の資質確保の課題

- ・IBに関する校内研究会
- ・学校組織でのワークショップ参加
- ・日本人教師の英語研修
- ・外国人教師の指導要領に関する研修

# DP導入検討を進める中で見えてきた 課題解決策（国際中等の場合）

## その3) 国内大学進学の問題

私たちには解決不可能……ですが……

優秀な卒業生を国内大学に送り出すことで……

# その他の課題

- DP生徒と一般生徒の学習環境
- 施設設備
- 保護者の理解
- 支援(文部科学省・地域・教育委員会・大学等)



# 連絡協議会に期待すること

- ・特色あるカリキュラムの情報交換と課題解決に向けた共同研究
- ・IB指導人材育成を目標とする人事交流や共同研修
- ・より効果的な学習を目指す生徒間交流

「グローバル人材の育成」は、  
初等中等教育から始まる。

生徒達が、自らの将来に夢を持ち、海外で活躍  
する自分を創造することができるように、私た  
ち教育者は、そこにある**壁**を、1つ1つ崩して  
いきましょう。